

Java EE

- ・1999年に登場した大規模システム向けのフレームワーク
- ・Java標準仕様(様々な取り扱い方を定めたAPIやフレームワーク、ライブラリの集合体)で、使い勝手がいい(特に最新版は使い勝手が良い)
- ・アップデート頻度が遅く(1, 2年に一度)最新技術への追従は遅れるが、安定感を重視するなら JavaEE使うのが良い。

Spring Framework

- ・2003年にリリースされたオープンソースのフレームワーク。DIコンテナ(Dependency Injection)と呼ばれる、環境に依存する機能を外部から提供可能とする方法が特徴
- ・DIとAOP(アスペクト志向)を中核とした豊富な機能が特徴、JavaEEよりも広範な機能を備え、多くの環境で動作することができる。
- ・Javaに関するフレームワークの中でも実績が多いため、最も成功しているオープンソースプロジェクトと断言していい。

Play framework

- ・2007年にリリースされた小規模システム向けのフレームワーク
- ・webフレームワークに焦点を絞り、ハードウェアへの負担を抑えたシステムの構築ができる。軽量で使いやすく開発効率は最も優れている。
- ・内部的にScalaを使用している、Spring Frameworkと比較すると実績が少なく、Javaの標準に準拠していないため、周辺のシステムと連携するのに方法を考慮する必要がある。